

イエス、笑う

シリーズ～新イエス～

2025/8/31

イエスのユーモア

• 弟子につけたニックネーム

- 「ゼベダイの子ヤコブとヤコブの兄弟ヨハネ、この二人にはボアネルゲス、すなわち、「**雷の子ら**」という名を付けられた。」(マルコ3:17)
- サマリア人がイエスを歓迎しなかったので「主よ、お望みなら、天から火を降らせて、彼らを焼き滅ぼしましょうか」(ルカ9:54)と言った

• 大げさなたとえ

- 「あなたは、兄弟の目にあるおが屑は見えるのに、なぜ自分の目の中の丸太に気づかないのか。」マタイ7:3
- 「金持ちが神の国に入るよりも、らくだが針の穴を通る方がまだ易しい。」(19:24)

「喜びにあふれて」

「そのとき、イエスは**聖霊によって喜びにあふれて**言われた。『天地の主である父よ、あなたをほめたたえます。これらのことを知恵ある者や賢い者には隠して、幼子のような者にお示しになりました。そうです、父よ、これは御心に適うことでした。』」(ルカ10:21)

•72人の弟子が喜んで帰ってくる

- 「悪霊があなたがたに服従するからといって、喜んでではない。むしろ、あなたがたの名が天に書き記されていることを喜びなさい。」(20)

•喜びにあふれたイエス

- 幼子のような者たちが神の国の真理を受け取り、喜んでいる姿にイエス自身も嬉しくなった

喜びに満ちているイエス

「わたしが父の掟を守り、その愛にとどまっているように、あなたがたも、わたしの掟を守るなら、わたしの愛にとどまっていることになる。これらのことを話したのは、**わたしの喜びがあなたがたの内にあり、あなたがたの喜びが満たされるため**である。」(ヨハ15:10-11)

• イエスの内にある喜び

- イエスの内には常に喜びが満ちている
- 父の掟を守りその愛にとどまっているから

• その喜びに満たされるためには、掟を守り「愛にとどまっている」こと

- イエスのように愛することで喜びが満たされ続ける

無くした銀貨のたとえ

「あるいは、ドラクメ銀貨を十枚持っている女がいて、その一枚を無くしたとすれば、ともし火をつけ、家を掃き、見つけるまで念を入れて捜さないだろうか。そして、見つけたら、友達や近所の女たちを呼び集めて、『無くした銀貨を見つけましたから、一緒に喜んでください』と言うであろう。言うておくが、このように、一人の罪人が悔い改めれば、神の天使たちの間に喜びがある。」(ルカ15:8-10)

大切な宝物を無くした女

•設定がおもしろいたとえ話

- 「ドラクメ銀貨十枚」(約10万円)を持っていた女
- 女性は働けなかった時代にどうやって貯めたのだろうか>家計をやりくりして少しずつ蓄えた？

•そのうちの一枚を無くした

- 彼女にとっては一大事！
- 無くなったときにはパニックになった

•必死になって捜した女

- 「ともし火をつけ、家を掃き、見つけるまで念を入れて捜さないだろうか」

見つかったときの喜び

- **見つけたら、多くの人たちと喜びを共にする**
 - 「そして、見つけたら、友達や近所の女たちを呼び集めて、『無くした銀貨を見つけましたから、一緒に喜んでください』と言うであろう。」
 - ドラクマー一枚分以上ふるまったかも？
- **一人の罪人が悔い改めた時の喜び**
 - 「このように、一人の罪人が悔い改めれば、神の天使たちの間に喜びがある。」
 - 「一人の罪人」は神にとって**大切な宝物**であるから
 - 神はパニックになるほど必死に探しておられる
 - **見つかった時には天で大宴会が模様されている**

イエス、笑う

「はっきり言っておく。あなたがたは泣いて悲嘆に暮れるが、世は喜ぶ。あなたがたは悲しむが、**その悲しみは喜びに変わる**。…しかし、わたしは再びあなたがたと会い、あなたがたは心から喜ぶことになる。その喜びをあなたがたから奪い去る者はいない。」(ヨハ16:20, 22)

- 目前に迫る別離(十字架)による悲しみ
 - 悲しみは喜びのための序章である
- イエスとの再会は永遠に続く喜びとなる
 - イエスとの再会こそ私たちの最高の喜び
 - **イエスはそのとき最高の笑顔で私たちを迎えて下さるだろう!**